

令和3年度 学校関係者評価書 (川南町立山本小学校)

項目	評価指標 及び 具体的目標	自己評価		自己評価結果の考察・分析および改善策等	関係者評価		学校関係者評価委員の意見
		項目	総合		項目	総合	
I 町民が生涯を通じて学び、教育に参画する社会づくりの推進							
1	家庭教育支援の充実に努める。 ・家庭教育の支援 ・個人面談等を生かした子育て不安等の解消	3	3	・夏休みに全児童の保護者と個人面談を行い、保護者の願いや悩みを聞き、助言や支援を行った。 ・家庭教育学級で、SNSやLGBTの講演会を実施し、子育てに役立つ情報提供を行った。	3.7	3.7	・少人数の特色を生かした個人に寄り添った支援が行えていることで、子どもの成長を保護者も安心して見守ることができている。 ・LGBTの講演会には、地区民への参加呼びかけもあり、出席者も多かったように思います。今後も地区を含めた取組を継続していきたい。
2	学校や家庭、地域等が一体となって取り組む教育を推進する。(PTA活動) ・地域の人的、物的資源の積極的な活用 ・家庭と連携した健康教育、食育の充実 ・地域学校協働活動推進委員会を生かしたPTA活動の活性化	3	3	・保護者や地域の人に、生活科・社会科・総合的な学習の時間等の講師を依頼した。 ・養護教諭からの保健便り、外部講師を招いての食育授業のホームページでのお知らせ等とおして、家庭へ健康教育・食育の啓発を行った。	3	3.3	・保護者や地域の人で学習の講師となるの情報を集め、更に活用してもらいたい。 ・家庭により、食育に関しての温度差が消えないため、興味をもち、積極的に取り組める講習を行ったり、情報の提供を継続してもらいたい。 ・地区の方・保護者の協力、外部講師等、様々な工夫がなされているのを感じます。
II 社会を生き抜く基盤を培い、未来を担う人財を育む教育の推進							
1	読書活動を推進する。 ・学校図書館活用の充実 ・町立図書館との連携 ・ファミリー読書の推進	3	3	・町図書事務が中心となり、使いやすい学校図書館の設置に努めた。また、今年度は、図書購入候補の図書を展示し、全児童から読みたい本の希望をとり、図書を購入した。 ・町立図書館から2カ月に1回団体図書貸出を受けた。また、学習に必要な図書はリクエスト本として、町図書館から借りている。 ・6月と11月には、ファミリー読書期間を設け、家庭で読書に親しむ機会を設定した。	3.3	3.3	・児童の図書への興味が出るように、図書室の活用法の検討を続けてもらいたい。 ・図書室の雰囲気はとてもよいと思う。 ・学校図書館の充実を感じます。親しみやすい室内の様子、飾り付け、図書の展示の仕方等工夫され、とても楽しい雰囲気です。
2	確かな学力を育む教育を推進する。 ・「分かった、できた」と児童が自信をもって言える授業改善及び家庭学習の充実 ・GIGAスクール構想に向けたICTの活用	3	3	・夏休みの学力向上研修で、全ての学級における授業や家庭学習の課題を明らかにし、授業改善及び家庭学習の充実の手立てを考えた。手立ての一覧を全職員に配付するとともに、1月には改善状況の確認をした。 ・全国学力学習状況調査やみやざき小中学校学習状況調査、各単元テスト等を分析し、復習が必要な単元の課題を準備し、学力の定着を図った。 ・研究主任が中心となり、タブレット等ICTを活用した効果的な指導方法についての研修を何度も行ったことにより、教職員のスキルが向上した。授業でも積極的に取り入れている。	3.3	3.3	・学習量を無理に増やしたり、問題のレベルを上げたりすることなく、自分でしっかりやれたことを体験させる学習法は、児童のやる気につながっていると思うので、良い取組ではないかと思う。 ・GIGAスクール構想に向けた具体的なICTの活用現場を保護者に積極的に公表して理解を深めてほしいと思う。 ・アンケートでは学習面の保護者の評価がとても高いようです。先生方の努力の賜かと思えます。タブレット等今後ますます利用が促進されるのではないかと思います。
3	人権を尊重し豊かな心を育む教育を推進する。 ・「山本小当たり前のこと3か条」の指導を中心とした基本的な生活習慣の定着 ・いじめの未然防止及び自他の生命を大切にす道徳教育及び人権教育の推進	3	3	・山本小当たり前の3か条は、学校ではほぼ実践できている。しかし、家庭や地域でのいじめはまだ不十分なので、家庭にも啓発しながら、継続的に指導を行っているところである。 ・毎月実施している教育相談アンケート及びハートフル委員会をとおして、いじめの早期発見に努めている。「いじめ」と認識できるケースはほとんどないが、教育相談等とおして望ましい人間関係が醸成できるように指導・助言を行っている。	3	3	・学校以外での山本小当たり前の3か条の実践があまりできていないことは以前から分かっており、改善できていないことに問題があり、地域の人や家族に協力を強く訴える方法を考えないといけないと思う。 ・アンケートのいじめ防止について、保護者と先生方の達成度の差が大きいようですが、保護者への情報発信等をさらに行ってはと思います。
4	特別支援教育を推進する。 ・校内組織の充実及び関係機関との連携 ・個別の教育支援計画、指導計画の共有及びその活用	3	3.3	・特別支援教育コーディネーターを中心に、校内支援体制を構築しているところである。また、誰もが実態に応じた指導・支援ができるように校内研修(事例研)にも取り組んでいる。 ・病院・スクールカウンセラー・宮崎県発達障害者支援センター・特別支援学校等と連携し、児童の指導・支援にあたっている。 ・特別な教育的支援が必要な児童については、個別の教育支援計画・指導計画を作成し、指導にあたっている。	3	3.3	・特別支援教育コーディネーターを中心に、特別支援教育にとても力を入れていることは、特別支援教育を必要とする児童の成長を見ることができている人は感じられると思うが、取組の現状があまり表に出てきていないので、理解されたい人ではないかと思われる。 ・校内研修、各機関との連携、個別の計画等、手厚く行われているのを感じます。
5	郷土を愛し地域社会に参画する態度を育む教育を推進する。 ・「ふるさと学習」の充実 ・「みどりの少年団」の活動の充実 ・川南町(山本地区)ならではの行事への積極的な参加の推進	4	4	・新型コロナウイルス感染症により、地域の行事は中止になり、児童は参加の機会がなかった。 ・登り口仮留り保存会に協力を得て、全児童が仮留りを継承し、保存会の方々と一緒に運動会で発表している。 ・生活科や社会科、総合的な学習の時間で地域人材や地域素材を活用し、地域の一員としての自覚を高めている。 ・みどりの少年団活動で花を育てたり、校内や山本地区コミュニティーセンター周辺の清掃活動に取り組んだりしている。一人一鉢で育てた花は、家庭やコミュニティーに飾り、家庭や地域を明るくしている。	3.3	3.3	・コロナが1日でも早く終息し、以前のように郷土を愛し、地域社会に参画できる態度を育む教育を積極的に推進してもらいたい。 ・新型コロナウイルス感染症のため、行事の中止が重なり、児童には残念な年だったと思いますが、仮留り他、地域の方々の協力、みどりの少年団活動等、経験はたくさんできたのではないかと思います。
6	キャリア教育を推進する。 ・幼保小中との連携を図り、キャリアパスポートの活用 ・学年の発達段階を考慮したキャリア教育の見直しと計画的な実施	3	3	・生活科や総合的な学習の時間に、川南保育園との交流活動を行った。 ・社会科や総合的な学習の時間には、地域人材を活用し、様々な仕事への理解を深めた。 ・行事に向けての抱負や行事後の感想などをキャリアパスポートに記入させ、発達段階に応じた「かかする力」「見つめる力」「追究する力」「見通す力」の育成に努めた。	3	3	・川南保育園との積極的な交流の実践と地域の人を活用したキャリア教育を行ってもらいたい。 ・様々な経験・活動に取り組み、成長する力を育てているように思います。
7	社会の変化に対応した多様な人財を育む教育を推進する。 ・GIGAスクール構想に向けたICTの活用 ・ICT活用指導力の向上 ・ALT活用による国際理解教育の推進	4	4	・今年度、一人一台のタブレットが配付され、児童も発達段階に応じて使用することになった。校内だけでなく、GIGAスクールサポーター等を活用した研修を重ね、教職員のICT活用指導力は向上した。 ・週1回のALTと連携した授業により、児童の英語によるコミュニケーション力は向上している。	4	4	・ICTの活用と英語になじむことは今後必ず必須となってくるため、更なる指導力の向上を期待したい。 ・ICTの活用は、ますます増えると思います。先生方の研修も忙しいなか、行われていることと思います。ありがとうございます。
III 教育を支える体制や環境の整備・充実							
1	教職員の資質向上と働き方改革の推進に努める。 ・教職員の業務の軽減 ・教育活動の質の改善 ・コンプライアンス遵守の徹底	3	3.5	・留守番電話が設置されたり、個人の携帯電話等での保護者とのやり取りが制限されたりしたことを保護者に伝えたことにより、夜間や休日の電話対応が減った。また、文書等をデータベース化したことで、業務の軽減を図ることができた。 ・年に2回のコンプライアンス研修を始め、毎週の終礼でコンプライアンス遵守の徹底を図った。今年度、コンプライアンス違反に係る案件はない。	3	3.5	・働き方改革の推進は、先生方の働きやすさの向上、負担の軽減ができるようであるが、業務時間以外の連絡を取る手段がないことで、急ぎの連絡を取りたい時に不安を感じている保護者がいるのではないかと考える。 ・働き方改革は、先生という職業上、難しい面も多々あるのではないと思いますが、少しずつでも進め、先生不足の解消に繋げて頂きたいと思います。
2	安全、安心な教育環境の整備・充実を努める。 ・新型コロナウイルス感染症対策の徹底 ・安全に関する危険予知・回避能力の育成 ・安全教育・防災教育の充実	4	4	・毎朝の検温、マスク着用、手洗い・うがい、こまめな消毒・換気等は児童にも定着している。また、毎日、職員による教室内外の消毒も行っており、感染対策の徹底は図られている。 ・避難訓練、集会や放送等による安全指導等とおして、危機予知・回避能力の育成が図れた。職員についても、危機管理意識が高まっている。	4	4	・感染症予防の対策や災害時の対応力の向上を目指した訓練を継続して実施してほしい。 ・新型コロナウイルス感染症対策の徹底、日々大変だと思いますが、よろしくお願致します。アンケートでも保護者の評価も高く、先生方の努力のお陰かと思えます。
IV 文化やスポーツに親しむ社会づくりの推進							
1	学校体育の推進に努める。 ・学校体育の充実による体力向上 ・地域スポーツ団体との連携や国民文化祭への参加の推進	3	3	・体育主任が作成した体力向上プランを全職員で共有し、各学年の実態に応じた運動を取り入れながら体育の授業を構成し、体力の向上を図った。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域スポーツ団体との連携は図れなかった。体育だけでなく、プロジェクト委員会が計画した昼休みの「みんなで遊ぶ日」などを実施し、遊びをおとした運動の推進を図り、スポーツに親しむ意識を高めた。 ・全児童が国民文化祭・芸術文化祭に向けた作品に取り組んだ。	3.3	3.3	・昨今の児童の身体能力の低下や体力低下が気にはなっている。 ・体育の授業の内容の更なる見直しや楽しみながら体を動かせる機会を増やすなどの取組を望みたい。 ・国民文化祭や芸術文化祭へ積極的に作品の出品やたぐさんの表彰を受けたことはすばらしい成果だと思える。 ・昼休みの「みんなで遊ぶ日」というのは面白そうですが、どんなことをされたのでしょうか。小規模校ならではの取組も楽しいなと思いました。学年に応じた体力は、先生方と保護者と達成度に差があるように思います。